

令和3年度 行政管理栄養士政策能力向上シンポジウム 開催要領

目 的	<p>健康日本21（第二次）の推進については、「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活改善の基本指針」により施策の充実及び推進が図られ、これまでの地域保健総合推進事業においても「成果が見える」施策を推進するために必要なプロセスを解明する取組を行い、各自治体においてもPDCAサイクルに基づく効率的かつ効果的な施策の推進に努めている。</p> <p>こうした中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人々の生活習慣及び食習慣は変化を余儀なくされ栄養・食生活改善施策の必要性に対する認識が更に高まり、また、栄養は持続可能な開発目標（SDGs）の全ての目標達成に寄与するものであり、健康面に加え環境面にも配慮した持続可能な食環境づくりが求められるなど、新たな局面を迎えている。</p> <p>これらのことから、今回のシンポジウムでは、今年度から活動を開始した「将来を見据えた、地域における栄養政策の企画・立案手法に関する研究」の趣旨や方向性について報告すると共に、今後、新たな課題も見据えた栄養政策への対応について、多様な関係者と連携した取り組み方策についても考えることを目的とする。</p>
主 催	日本公衆衛生協会
開催日時	令和4年2月4日（金）午前10時30分から午後4時まで
会 場	AP 東京八重洲 P・Q会議室 先着80名（先着200回線までオンラインによる参加も可能）
対 象 者	都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁、市町村に勤務する管理栄養士、栄養士等の関係職員
参 加 費	無 料
参加申込	<p>日本公衆衛生協会ホームページ（http://www.jpha.or.jp/）にアクセスの上、参加申込フォーム https://jp.surveymonkey.com/r/DV7TDDQ よりお申し込みください。【申込締切】令和4年1月14日（金）先着順 ※定員になり次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。</p> 
内 容	<p>1 10:30 開 会 主権者挨拶：日本公衆衛生協会 理事長 松谷 有希雄 来賓挨拶：厚生労働省 健康局長 佐原 康之</p> <p>2 10:40～11:10 説 明 「将来を見据えた、地域における栄養政策の企画・立案手法に関する研究について」 説明者：地域保健総合推進事業 分担事業者 福井県福井健康福祉センター 新田 和美</p> <p>3 11:10～12:00 講 演 「新たな課題に対応した栄養政策の推進に向けて ～他部局と連携した栄養・食生活支援について～」 講 師：厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 （休憩60分）</p> <p>4 13:00～15:50 シンポジウム 「これまでの栄養政策を振り返り、今後、新たな課題に対応した栄養政策について考える ～多様な連携の取組みを目指して～」 座 長：愛知県瀬戸保健所 所長 澁谷 いづみ 先生 助言者：厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 シンポジスト：①兵庫県健康福祉部健康局健康増進課 保健・栄養指導班 班長 <(公社)日本栄養士会公衆衛生担当理事> 諸岡 歩 ②国立保健医療科学院生涯健康研究部 地域保健システム研究領域 主任研究官 和田 安代 ③神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 教授 田中 和美</p> <p>5 15:50 事務連絡 6 16:00 閉 会</p>